

東日本大震災記録映像収集・公開プロジェクトに基づく平成 25 年度現地映像調査報告

東急建設(株) 正会員 ○梅津 愛

公益社団法人 土木学会附属土木図書館 正会員 坂本 真至

特定非営利活動法人 建設教育研究推進機構 フェロー会員 大野 春雄

1. はじめに

土木技術映像委員会では、2011年3月11日に発生した東日本大震災に関する情報や記録を今後の災害対策、防災技術の開発、国土計画、社会基盤整備などのために、また、震災の記録を伝承し風化させないために、情報資料部門東日本大震災アーカイブ特別委員会映像小委員会と合同で、東北地方の映像調査を実施した。東日本大震災では多くの市民が撮影した映像が存在しており、当委員会では動画サイトなどに投稿された震災関連の映像やメディア各社が発行した震災記録映像などを収集し、独自に分析を加え、委員会内部資料として蓄積している。一方、メディア各社の映像の公開にあたっては、著作権などが発生し許諾を得ることが難しいことが判明している。当委員会では極めて公共性の高い映像を対象として土木的な観点から編集・分析を加えた上で、土木学会 web サイト¹⁾で公開することの重要性を認識し、直接現地に赴いて可能な限り公開可能な映像を収集することとした。以下に、その経緯と得られた成果の概要を報告する。

2. 調査概要

表-1 平成 25 年度映像調査概要

No.	場所	機関・個人	成果概要
(1)-①	仙台市	東北地域づくり協会	被災前後の航空写真 20 箇所、写真集など
(1)-②	仙台市	東北地方整備局	防災ヘリ映像 (DVD6 枚) 写真 8 千枚など
(1)-③	気仙沼市	気仙沼市役所	—
(1)-④	宮古市	宮古市役所 宮古市田老総合事務所	被災映像 1 本 被災映像および写真
(2)-①	石巻市	石巻ガス(株) 阿部浩一氏	個人撮影映像 4 本 写真など
(2)-②	気仙沼市	気仙沼商会 小野寺誠氏	被災映像 3 本
(2)-③	気仙沼市	コヤマ菓子店 小山裕隆氏	被災映像 15 本 および写真

平成 25 年度は 2 回の映像調査を実施した。第 1 回目は 2013 年 11 月、仙台市の東北地域づくり協会と東北地方整備局を訪問した。現地調査として石巻市および事前に映像を調査していた石巻ガス(株)を訪問した。第 2 回目は 2014 年 3 月、宮古市役所と田老地区総合事務所を訪問した。現地調査として大船渡市役所、気仙沼市役所および、映像を事前調査していた気仙沼商会の小野寺誠氏、コヤマ菓子店の小山裕隆氏を訪問した。さらに仙台市若林地区、名取川河口荒浜地区、閑上(ユリアゲ)地区などの現地調査を実施した。

3. 収集成果

(1) 機関からの提供

①東北地域づくり協会

同協会では被災前に東北沿岸の航空写真を撮影しており、被災直後にも同じアングルから撮影した貴重な写真を所蔵している(写真-1, 2)。また復興状況も撮影しており、1 年後、2 年後、3 年後の復興状況が辿れるように、継続して撮影を実施するとのことであった。同協会からは、主要 20 箇所に及ぶ被災前後の航空写真を提供頂くとともに、同写真をまとめた大判の写真集、シンポジウムをまとめた DVD や報告集などを入手した。

②東北地方整備局

同整備局では震災情報の積極的な公開を行っており、これまでも東日本大震災記録映像をまとめた『東日本大震災 現場の闘い』をいち早く土木学会に寄贈し、同映像は 2012 年度映画コンクール最優秀賞にも輝いて、当委員会が運営する映像配信システム「東日本大震災を映像記録として残すために」で一般公開している(写真-3)。今回の調査ではそれに加え、各地方整備局が震災発生の翌日から防災ヘリを利用して被災地域ごとに分担して撮影した DVD6 本分の映像を提供頂くとともに、被災写真 8 千枚についてもキャプションを付して提供があった。また、被災直後に情報を集中し、くしの歯作戦を展開した現場である「防災



写真-1 田老地区の震災前 (2010. 3)



写真-2 田老地区の震災直後 (2013. 3. 28)

キーワード：東日本大震災、土木技術映像、被災映像収集、映像収集調査

連絡先：〒252-024 神奈川県相模原市中央区田名 Tel 042-763-9507 Fax 042-763-9504 Email: umezu.ai@tokyu-cnst.co.jp

センター」では、大画面・マルチ画面での定点カメラの映像や現場写真などを紹介して頂いた。

③気仙沼市役所

気仙沼市総務部危機管理課を訪問した。気仙沼市では防災科研などと連携して自治省標準の震災アーカイブシステムを構築中であり、今後、公開の予定であることを確認した。ただし、写真中心で映像資料は収集していないとのことであった。

④宮古市役所

宮古市役所広報担当を訪問した。宮古市を襲う津波の様子を記録した映像1本(約26分)の提供を受ける。宮古市街地に真っ黒な濁流が激しい破壊力を持って流れ込む、最も報道された映像のオリジナルと考えられ、貴重な映像である(写真-4)。なお、宮古市田老総合事務所でも映像・写真の提供について了解を得ている。

(2)個人からの提供

①石巻ガス(株) 阿部浩一氏

石巻港を超えて石巻ガス(株)を襲う津波の様子や、被災後の石巻港～石巻ガス(株)周辺の様子を記録した貴重な映像4本(計5分16秒)の提供を受ける。石巻港周辺の被災の状況を鮮明に記録した映像であり、一瞬にして瓦礫の山になった凄惨な状況も記録されている貴重な映像である(写真-5)。

②気仙沼商会 小野寺誠氏

気仙沼港を襲う津波の様子(写真-6)から夜の火災、さらには翌朝の被災現場の状況まで記録した映像1本(17分37秒)と、火災に襲われた翌日の気仙沼港～気仙沼市街の様子を記録した貴重な映像2本(計25分33秒)の提供を受ける。地震発生から津波、火災といった災害の連鎖が起きたことが確認できる貴重な映像である。

③コヤマ菓子店 小山裕隆氏

小山裕隆氏より気仙沼を襲う津波の映像15本(計14分44秒)の提供を受ける。被災時の津波が街を破壊しながら遡上する様子が克明に記録された貴重な映像である。また、当夜に発生した火災の様子も記録されており(写真-7)、地震、津波の被災に加えて、どのように被害が広がっていったのか確認できる貴重な映像である。

4. 今後の課題

震災記録の映像の公開にあたっては、越えなければならないハードルがいくつもある。たとえば、個人が撮影した映像であってもマスメディアを経由すると、マスメディア側の著作権(編集権)が発生することなどは、大きな障壁となっている。今回の現地調査によって、貴重な映像の公開への糸口が見いだされたことは一つの成果であるが、多くの埋もれた映像をいかに公開の俎上に載せていくかは、今後の課題である。

【参考文献】

- 1)土木技術映像委員会サイト「東日本大震災を映像記録として残すために」 <http://committees.jsce.or.jp/avc/>
- 2)土木学会情報資料部門東日本大震災アーカイブ特別委員会:土木学会東日本大震災アーカイブサイトの展望,平成25年度土木学会全国大会研究討論会,研-23資料,2013.
- 3)龍尊子・坂本真至:土木学会東日本大震災アーカイブ・震災映像収集～公開プロジェクトー東日本大震災を映像記録として残すために-,第68回土木学会年次学術講演会,CS9-003,2013.



写真-3 道路啓開 (『現場の戦い』より)



写真-4 宮古市を襲う津波の映像



写真-5 被災した石巻港周辺の映像



写真-6 気仙沼港を襲う津波の映像



写真-7 気仙沼市街地を襲う火災の映像